

第五中学校給食室周辺地盤の調査経過とその対応について

1. 経緯

平成 24 年度に給食室周辺地盤に僅かな亀裂や傾きが目視により確認された（資料 1 参照）。地盤の補修にあたり、施設担当から専門的調査を行うよう助言があり、維持補修費の予算で、平成 25 年度に調査を行い、その結果、平成 26 年度に地盤改良工事を実施した。

2. 調査実施

(1) 調査期間 平成 25 年 6 月 18 日～同年 9 月 26 日

(2) 調査内容 ①地質調査等

敷地内の地質構成調査及び土質特性調査

②地下水位調査等

地盤下での地下水位調査及び砂礫層の細粒土状態調査

③土砂の滞留状態調査等

下水道管内部の土砂の滞留状態調査及び地盤下の空洞調査

3. 調査結果

(1) 地盤状況

- ① 地盤は埋土層と砂礫層に分かれ、埋土層の中間部及び下層部はやや軟弱であった。
- ② 地下水位は深度 4～5 m のところにあり、その付近の細粒土は少ないがその上層には多く存在していた。
- ③ 通路下の下水道管内には土砂が滞留した跡はなく、下水の流れも正常であった。また、地盤下には、大きな空洞はなかった。

(2) 原因

地盤の傾きは、地盤の空洞や埋土層の砂礫層への流失が原因とは考えられないことから、敷地内の埋土層の軟弱な地盤が敷地外に流れ出たことが原因と想定されるという結果であった。

4. 対応策

(1) 工事期間 平成 26 年 6 月 28 日～同年 8 月 27 日

※調査の結果、緊急対応が必要でないことから、授業等への支障がないよう工事は学校の夏季休業中に実施した。

(2) 工事内容 給食室周辺に土留め壁（鋼矢板 2 カ所）を埋設し、地盤の流動化の防止対策を講じた。

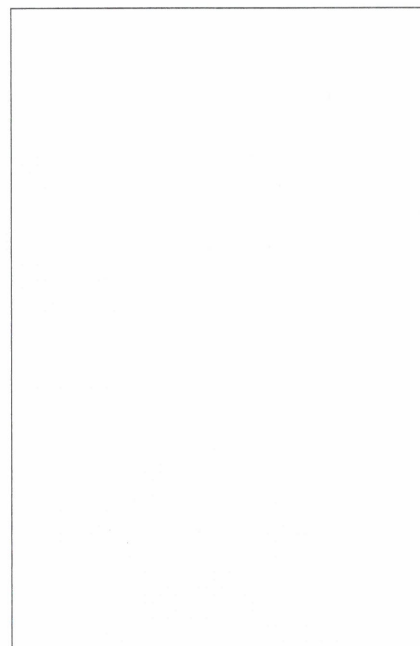
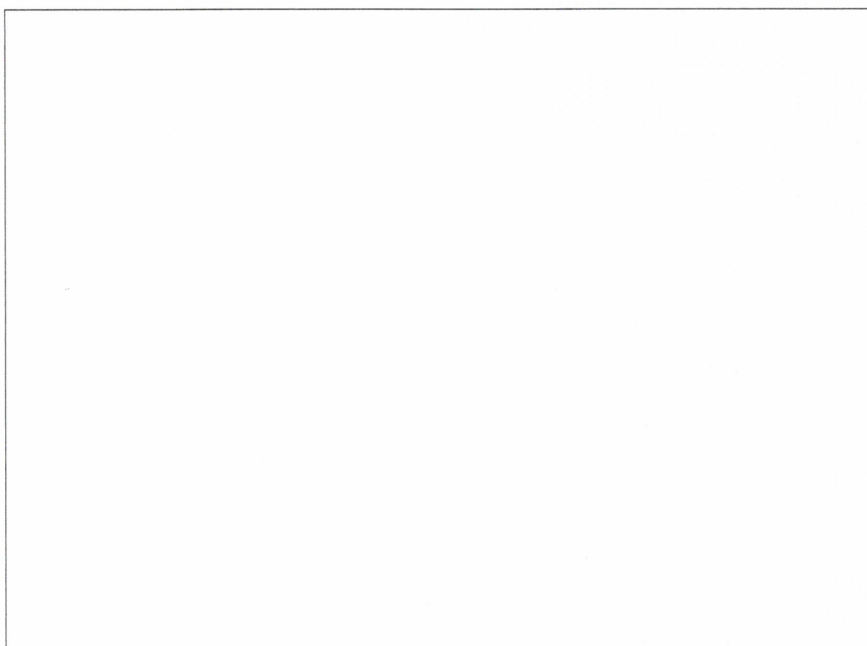
(3) 工事個所 給食室周辺（資料 2 参照）



施工前



施工後

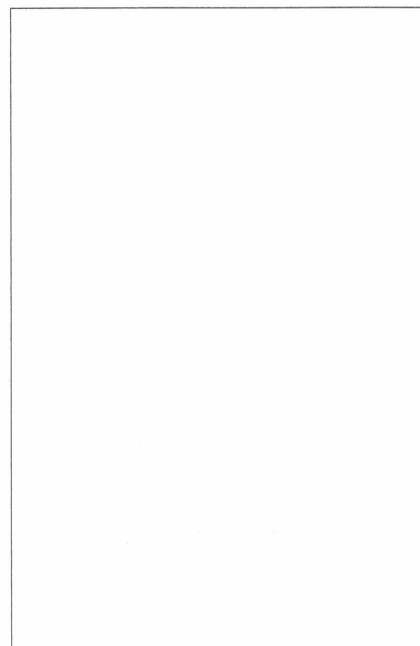
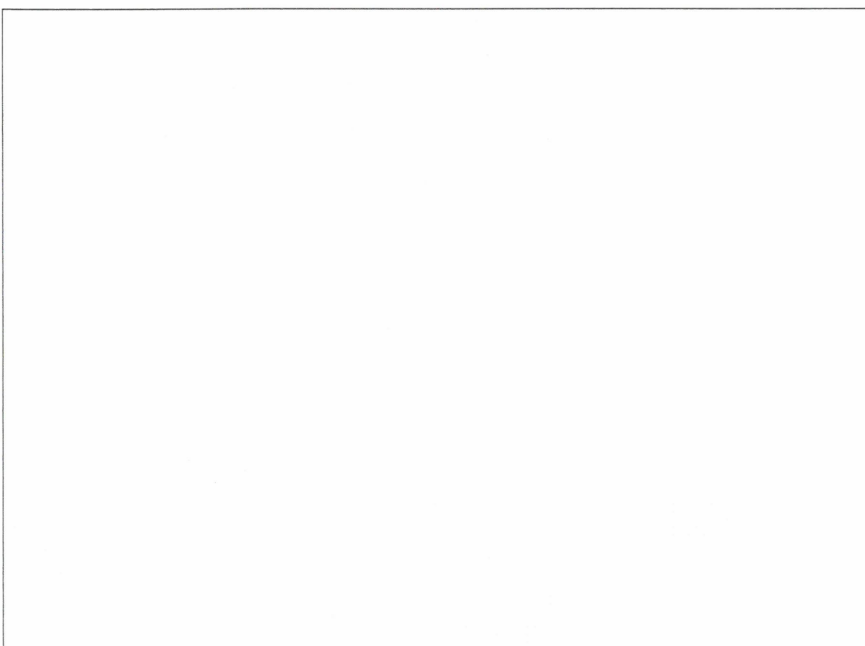




施工前



施工後



鋼矢板打込工

